

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年2月28日

事業所名 鈴鹿市第2療育センター

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点・課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12	2	2	・身体の大きさを考えるとあていない物等もあります。	・体に合ったものを提供するようなプログラムを立案しています。 ・今後も参加人数や活動内容によって更なる改善に努めていきます。
	2	職員の配置数は適切である	12	2	2		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	13	2	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	3	3	・広く職員が参画できるように担当を変えています。 ・その都度、話し合っています。	・計画立案の場面以外でも常に職員の意見交換が図れるよう職員室の配置も含め調整しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	1	3		・頂いた意見を職員間で共有・検証し業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	13		3		・頂いた意見は公表していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10	3	3	・第三者の範囲が法人内となっています。法人全体では対応があります。(事業計画の推進会議)	・3カ年事業計画の進捗管理を毎年実施している。法人内ではあるが、評価委員会を設け、PDCAを活用しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	1	3	・学齢期のお子さんに関する研修はあまりないように感じています。	・3カ年事業計画に基づいて、第1・2の共同で研修会を開催し、療育センター全体の質の向上に努めています。 ・今後は、学齢期の支援の研修も設定していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	12	2	2	・集団の対象については1年生のみで通所回数も月1回のため、目標もほとんど変化がなく保護者の声を聞いて担当が作成しています。センターの役割として何ができるのかを検討していきます。	・引き続き、アセスメントの分析結果を計画の作成に反映できるようにしていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	5	3	・共通で使用しているルーツが必要だと思います。	・今後、研修会を経て導入を検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	3	2		・チームで対応できる様、先ず個別支援のデータの一元化等により共有しやすい仕組みを検討します。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	1	3	・くり返しや積み重ねの経験が必要な時は保護者に伝えています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	2	3	・季節に応じた活動をとり入れています。 ・活動日が限定されていますが開設日の対応は実施しています。 ・必要に応じてしています。	・実施回数が限られていますが、季節感の設定は、工夫を重ねています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	3	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13	1	2		・毎回開始前・終了後には職員間で会議の時間を設けています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13	1	2		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	14	1	1		・毎回、活動記録及び欠席児への声かけ等、確認事項の記録は徹底しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	13		3		・常に職員の意見交換が図れるよう職員室の配置も含め調整しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	2	4	・今後も支援を勉強していきます。		

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	3	2	・サービス担当者会議を開いたて求められたケースがほとんどないです。 ・経験年数が長い職員と短い職員と一緒に連携が深めていけるように参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	4	4	・送迎は実施していません。 ・情報共有は保育所等訪問事業等に対応しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	4	4	・現在対象児童は在席していません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10	3	3		・引継ぎや保育所等訪問事業等において情報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10	3	3	・放課後等デイサービス(訓練)の利用は3年生までなので、サービス終了時には引継ぎ資料を作成し共有しています。 ・引継ぎ先によっては、保護者に直接事業所に連携していただくことがあります。	・期間を終えて卒業した後も、相談・フォローは受けています。直接相談・電話など。 ・対象児童の在籍はないが、他の放デイへの異動時には、引継ぎ会議や保育所等訪問事業等において情報共有等に努めています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	4	3		・各関係機関とは、連携に努めています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	10	3	・月1回の運営のため、実施には至っていません。今後は避難訓練等共有する計画があります。	・放デイの開設が月1回の為実施していません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	5	3	・担当者が参加しています。	・参加の機会は逃さないようにしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12	1	3		・回数が少ないため、保護者と家での様子や学校での様子を共有し、お子さんの状況を理解しようと努めています。 ・毎回、放デイの活動状況はフィードバックしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	4	3	・放課後等デイサービスを利用している保護者への支援についてはより良くなるように今後も検討していきます。 ・今後対応する予定です。	・今後の取り組み課題と捉えています。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13		3		・サービスの切り替えの時に保護者と話す機会を持ち改めて丁寧に伝えていきます。 ・サービス区分の切り替え時には、必ず実施しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	14		2		・当日のお子さんの様子や保護者の様子で気づいたことを話し、保護者が話を切り出しやすいように心がけています。 ・個別ではあるが、保護者の声には別途時間を設定する等機会を確保し丁寧に対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	8	3	・今後できることから行っていきます。	・児発で実施している「おはなし会」を参考に取り組みを実施してまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	12	1	3		・相談対応は2名以上で対応し、適切な対応に注力するとともに、職員間で共有し対応の標準化に努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	1	3		・情報誌「おにぎり」とセンター通信を定期的に発行しています。
	35	個人情報に十分注意している	13		3	・今後も気をつけていきます。	・コンプライアンスの取り組みで、定期的実施しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13		3		・視覚支援や声のトーンなど、お子さんがキャッチしやすい感覚等を使って伝えるよう工夫しています。 ・子どもの特性に配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	8	3	・広報誌として地域に発信しています。	・避難訓練等の機会を活用して地域と連携共有していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に周知できていません。 ・今後整えていく予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種のマニュアルは、わかりやすく表示していきます。 ・訓練に参加機会のない方にも情報発信に努め、机上訓練で参加しやすい工夫を重ねて行きます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスの設定訓練はしていませんが、実施してみたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数の関係から実施していません。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	14		2		<ul style="list-style-type: none"> ・職員対象の研修会や法人採用の個人向けチェック表での自己評価を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	12	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・拘束していません。部屋の施錠は説明しています。 ・身体拘束について話し合っています。1対1のみにせず、必ず空間には他児や保護者が入り、説明出来るようにしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施錠について必要に応じて活動前の説明は実施していきますが、重要事項説明書や契約書等に示すことで事前の周知が図れるようにしていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児童が在席がありません。研修を終え、すぐ対応できる仕組みはあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児童は在籍していませんが、医師による研修会を実施しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、朝礼・終礼等で共有しています。 ・報告の基準が別途作成してありますが、対象事例は発生していません。